

# けやき コミュニティ ニュース

けやき  
25  
きコミセン



けやきコミセンは開館 25 周年を迎えました。

これまでたくさんの地域の方々とつながり、

いろいろな事業を行い、そこに必ず出会いがあり、

新しいつながりが生まれました。

これからのけやきコミセンは

どう成長していくのでしょうか。

よりよい地域になるために、

けやきはまなぶ、みんなでまなぶ・・・

今年のテーマは「ま・な・ぶ」です。

どうぞ一緒に楽しく学びましょう。

## 目 次

- P 2 <報告> 今年度代表あいさつ・住民総会・けやき塾講演会  
P 3 <報告> コミセンスタンプラリー・けやきまつり・ミニタウン  
P 4～5 <特集> 「けやきを・ま・な・ぶ けやきで・ま・な・ぶ」  
P 6 <お知らせ> 新任あいさつ 運営委員のつぶやき 運営委員紹介

## ご挨拶

2014年度代表 寺島 芙美子

平成26年度けやきコミュニティ協議会の住民総会が4月19日に行われました。出席者73名のもと、議事も円滑に進み、無事終える事ができました。今年度は運営委員55名でのスタートとなります。

季節は移り変わり、けやきも開館して25年目を迎えようとしています。この間、地域の拠り所として、ユニークで、だれからも愛されるコミセンづくりに、試行錯誤を繰り返しながら歴史を刻んできました。

昨今、地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、コミュニティに対する関心、期待が高まっています。地域の様々な組織がお互いに連携して、地域の課題に取り組む必要が求められるでしょう。地域の担い手として、けやきがプロデュースし、地域の組織をまとめていく。これがけやきだからこそできる課題ではないのでしょうか。

けやきの歴史やところを大切にしながら、新たな一歩を踏み出したいと思います。 \*けやき=けやきコミセン

## 2014年度 活動方針

“けやき”のみどり豊かなこのまちを新しいふるさととして愛し みんなで仲良くまちづくりをすすめます。〈けやき憲章〉

☆赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが立ち寄りたくなる街づくりの拠点としてのセンターを目指します。

☆けやきのよさを継承しながら、夢のある充実した街づくりをめざしコミュニティの諸活動をすすめます。



住民総会 前年度代表から

参加者からの質疑

## 5/25 けやき塾講演会

「認知症を予防して  
老後を豊かに！」  
講師 星田正氏



私達が予防できることは  
①栄養のバランスがよく 腹八分目、大きい目安は 週2日肉、5日魚、野菜は多め ②定期的で適度な有酸素運動（ウォーキングなど） ③脳を創造的に働かせる知的活動（新聞・雑誌を読む、ゲームをする、囲碁、新しい料理、家庭菜園、絵画等 自分の好きなこと、得意なことを取り入れる。） ④できるだけ多くの人との会話、⑤1日遅れの日誌（前日の料理の材料、食べたもの、何をして過ごしたかなど） ⑥二つ以上のことを同時に行う（魚を焼きながら煮物を作る）

以上のことから、地域の皆さんお知り合いを増やして、大いにお喋りをしましょう。けやきコミセンで何か興味のあるものが、見つかるかもしれません。何時でもお遊びにいらしてください。

けやき塾 島森



## 認知症防止のための自己診断表

- 電話番号を調べて電話をかけることができる
- リーダーとして、行事の企画や運営を行うことができる
- 会の世話係や会計係を務めることができる
- 公共交通機関を利用して、あるいは自分で運転して、一人で出かけることができる
- 見知らぬ場所へ計画を立てて一人旅することができる
- 決まった分量の薬を定時に飲むことができる
- 貯金の出し入れや公共料金の支払い、家計のやりくりなど、家計を管理できる
- 日用品の買い物をする事ができる
- 請求書の支払いができる
- 銀行貯金、郵便貯金の出し入れができる
- 年金や税金の申告書を一人で作成できる
- 自分で食事の用意ができる
- 自分で掃除ができる
- 洗濯物・食器などの整理ができる
- 手紙や文章を書くことができる

上記で出来ることがいくつありましたか??

5つ以上あれば 今のところ大丈夫でしょう♪

## 第3回コミセンスタンプラリー

第3回コミセンスタンプラリーが終了しました！

～3月22日(土)～29日(土)までの7日間

大勢の方が市内16コミセンをまわりました～

学校がお休みのため親子でまわったり、ウオーキングを兼ねたりと、日頃なじみのないコミセンにも足を運び新たな発見があったようです。

期間中けやきコミセンには590人が訪れました。「花や緑に囲まれたすてきなコミセンでほっとしますね」という感想もいただきました。

2階のギャラリーにつるし雛・押花・折り紙を飾りコミセンの活動の一端をお見せしました。参加賞の雑貨も好評でした。

今年は16コミセン全てをまわると「達成シール」がもらえることになり、それも励みになったようです。

市全体で210人が達成しました！！



## 第32回 けやきまつり

5月11日(日)に開催しました。

今回のけやきまつりは楽しめましたか？今年はやきコミセン創立25年の記念の年。「けやきのあゆみ」をたどる展示とスライドショーで昔を懐かしみ、成蹊大学ボランティア本部 Uni. の「身近なもので作る防災グッズ」ワークショップやクイズラリーで防災に関する知識を深めたり、恒例の大野田小の先生方による焼きそば、町内会の皆さんのご協力による焼だんご、バザーには多くの方から協力を頂き感謝し、活用して頂ける橋渡しができて安堵しております。

地域のみなさんに影になり日向となり支えられ、改めて絆を感じる事ができました。ボランティア活動で普段に声を交わすことのない方とも協力する機会を得ることができました。また、地域の緩やかな繋がりを広げることが出来ることってステキなことと思いませんか？買い物に来てくれた方、手伝ってくれた方ありがとうございました。〈けやきまつり実行委員〉



焼きそば



親子で食事中



焼だんご

・・・実行委員会の子供達も、自分のお店の事だけではなく、他のお店の事も考えて行動したり、働きに来てくれた子供達のお世話をしあげたりと、ミニタウンを通じて子供達も大きく成長した様に思います。・・・

## 第8回 子どもがつくるまち

## むさしのミニタウン

「むさしのミニタウン」は主役は子どもたちです。

子どもが「子どものまち」をつくり、市民になって好きな仕事を選び働き、給料(ミニタウン通貨=ぐりん)を得て、「まち」の中で自由に使う遊びのまちです。

4月2日(水)に開催しました。

オープンの前からたくさん並んでくれていました。

第8回は中学2年生を中心に小学4年生～約40人の実行委員たち、実行委員をサポートする高校生と大学生たちで半年間かけて準備をしてきました。

シュミレーション、試作など準備してきたことが本番でどうだったか、やりながら工夫をしたりすることがとても成長につながったと思います。遊びにきてくれた子も働いて買い物をし、楽しい時間を過ごし、参加したみんなでけやき村をつくってくれました。



私たち事務局は、子どもたちが自主的に主体性を持って関われるものをとはじめました。年齢の異なるたくさんの子供達が進める中で、同じ目標を持ち、共に考え、創りあげていく。その中で自分の考えを伝え、他の人の考えを知り、協力しあう。大人はそれをサポートしながら子どもたちと信頼関係をつくる。コミュニケーション力が付いていきます。

8回続けてきましたが、今回**ファイナル!!**とし一端終わりです。また誰かがミニタウンを作ってくれてもいいし、違う形でみんなで作り上げていくものができるといいな、と思います。

**むさしのミニタウン**を開催するに当たり、事前に勉強会、準備を重ね、私たちの思いを理解し協力をしてくださった方々に本当に感謝致します。

ありがとうございました。〈事務局 M〉

\*\*\*手伝ってくれた大人スタッフの感想(抜粋)\*\*\*

・・・包丁を使う子供の見守り担当でした。実行委員の店長、副店長の子も、最初何をどうやったらいいか戸惑いながら準備をし、あっという間に開始時間になってしまいました。そくそくとお仕事したい子たちが集まってきて、ちょっとパニック。(何回もシュミレーションしたから大丈夫！落ちついて！)しばらくすると、すっかり店長、副店長らしく指示をしていました。「私、切るの初めてー」などと言う子供もだんだん慣れてきて、「こんなにたくさん切ったの初めて！」「楽しい！」とすっかり得意顔になっていました。この貴重な体験が子供たちにとって大切な思い出になると思います。・・・

**\*けやきの25年\***

けやきコミセンは、7年におよぶ建設運動の期間を経て、1989年12月に開館しました。今年の12月には25回目のお誕生日を迎えます。この四半世紀を振り返ると、さまざまな思いが去来する方も少なくないと思います。それだけ多くの方々「けやき」に通いながら思い出を積み上げてきたのでしょう。

5月11日に開催された「けやきまつり」では、開館25周年を記念する企画の第一弾として、2階のギャラリーに「けやきの25年・思い出語り場」を設けました。折に触れて「けやき」が編集発行してきた冊子などを展示するとともに、これまで撮りためてきた写真の一部をご覧いただきました。

周年の記念誌など、たくさんの「記録」は作成にたずさわった皆様のご苦労が忍ばれます。そして「記録」の中身は、これから先もしっかりと私たちが受け継いでいかなければならない「けやきの心」にあふれていました。また、写真を眺めて「みんな若かったねえ」などつつやきながらも、その折々の「思い」や熱気、さらには受け継がれてきた「けやきの思い」が伝わってくるものでした。

これから先、メンバーは少しずつ入れ替わっていくに違いありません。しかし、「地域のリビングルームになる」というけやきコミセンの初心を忘れることなく、「けやきの心」や「けやきの思い」とは何か、それをどのように実現していけばよいか、考え続けていきましょう。 江上



けやきまつり 2階ギャラリーにて  
「けやきの25年・思い出語り場」の展示物



建設中のけやきコミセン (1987年頃)

特色あるコミセン  
が良い!

**けやきコミセンのあしあと**

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
| 82   | 83   | 84   | 85   | 86   | 87   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央北コミュニティセンター</li> <li>・建設準備会誕生</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュース発行(約1300部)</li> <li>・けやきまつりは、なかよし公園</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央北コミュニティ建設準備会</li> <li>・改めけやきコミュニティ協議会</li> <li>・が誕生。</li> <li>・まりでした。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会則に前文を追加</li> <li>・青空市で活動費集めのため出店</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュース発行</li> <li>・(約2000部)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑町コミセン開館</li> <li>・ふそう通り公園奥の土地を用地</li> <li>・として市より提示される</li> </ul> |

この地にも  
コミセンを

～けやきコミセン スタート～

地域住民のつどい、ふれあいの場として愛されるコミュニティセンターづくりをめざして、建設準備会が1982年に発足し、1989年にけやきコミュニティセンターが開館しました。コミセンの運営について話し合いをかさね、模索しながら一歩ずつ進めてきました。

名実ともに市民自治のコミセンとして評価されているのは、関わってきた多くの方々の「市民による、市民のためのコミュニティ作り」の思いが根っこにあるからなのです。  
(Y)



落成式 (1989年12月16日)

けやき開館～10年までの思い出のフォトギャラリー



野外ペイント (1994年3月27日)



秋のコンサート (1996年10月12日)

忍者修業道場 (1999年9月25日)



野外映画と夕涼み会 (1995年7月22日)

88

89

90

91

92

- ・第一回どんど焼きのつどい開館 (十二月十六日)
- ・けやきコミュニティセンター同案をつめる
- ・設計者 (早川氏) で話し合い
- ・年初から市建築課と住民側で住民側設計を早川洋氏に依頼
- ・第六回住民総会
- ・そぼつくりで打ち上げの会
- ・けやきニュース三十号発行
- ・開館記念わっわのつどい
- ・第七回けやきまつり
- ・けやきクリスマスステイ
- ・彫刻「花」除幕式
- ・ギャラリーにて「すてきな年賀状の展覧会開催

続きは115号で...

## 運営委員のつばやき

運営委員を務めさせていただくのも、今年度で2年目になりました。

けやきとの関わりは祭りのお手伝いから始まりましたが、独立した個人としてコミュニティに参加するという充実感を知り、より深くけやきに関わりたいと考え運営に携わらせていただいています。

これまでの人生にはなかった、良い経験をさせていただけていることに感謝しています。

また、けやき開館25周年という節目に立ち会えることを幸運に感じています。四半世紀の歩みを振り返り、知ることで、けやきにもっと愛着を持ち、今後もけやきを良くし続けて行くお手伝いが出来ればと思う今日この頃です。

〈お〉

## —新任校長のごあいさつ—

〈大野田小学校 校長 坂西圭子〉

この度、大野田小学校に着任しました坂西圭子(さかにしけいこ)と申します。これまで第五小・第一小と6年間副校長を務めてまいりました。

「未来をひらく百年校舎」というコンセプトで建てられた大野田小学校を、「子どもの未来をひらく学校」となるように、60名を超える教職員一同「チーム大野田」として誠心誠意、教育を進めていく所存です。子供たちの人間としての「根」を深く張るために、これまで以上のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## けやきコミュニティセンターは

武蔵野市のコミュニティ条例の自主三原則「市民の自主参加・自主企画・自主運営」を基本原則に市民がまちづくり・コミュニティづくりをすすめるための施設です。市民のボランティアによってけやきコミュニティ協議会が運営しています。今年度の運営委員は下記の通り承認されました。

平成26年度運営委員(55名) ※協力員 126名に登録いただきました。

### ★代表委員

寺島 芙美子(代表) 出井 佳子(事務局長) 富 秀子(事務局長次長) 足立 春江(財務) 島森 和子(コミ研連)

### ★監査

市川 祐子 前田 栄治

### ●吉祥寺北町3

小野 千鶴子  
小林 美菜  
関 律子  
中澤 幸子  
高石 優  
高石 加奈子  
高田 昭彦  
田中 千恵子  
博田 美智  
山本 清子  
渡辺 純夫  
渡部 誠子  
渡部 正子

### ●吉祥寺北町4

宇田川 みち子  
菅野 耕一  
郡司 高直  
杉本 晃子  
寺島 芙美子  
富 秀子  
西山 多恵子  
長谷川 芳子

### ●吉祥寺北町5

足立 春江  
新井 真紀  
安藤 頌子  
市原 忠光  
今川 建夫  
香取 尚子  
小河内 順子  
佐藤 みな子  
島森 和子  
高橋 優子  
谷元 章  
長瀬 道子  
中村 英子  
村井 智子  
吉川 裕子  
吉松 杉子

### ●市内

出井 佳子  
小野 維之  
金子 ゆたかこ  
諏訪 泰代  
千綿 澄子  
花山 サト子  
深野 譲治  
山井 恵子

### ●市外

石川 博一  
風間 佑蔵  
川崎 悦司  
草場 純  
駒井 康一郎  
瀧澤 友朗  
土田 芳枝  
中嶋 悠人  
長峰 正雄  
森田 厚

## 編集後記

今年度ニューズ担当のメンバーは11名です。老若男女揃っていますのでそれを活かした記事が出来ると良いな~と思います。開館25周年という節目の年ですので、今までけやきコミセンに関わって下さった諸先輩方にも取材したいと考えています。そして地域の皆さまからも思い出が聞けたら嬉しいです。どうぞけやきコミセンに足をお運びください。

## けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町

5-6-19

TEL&Fax 0422-54-8719



ホームページ <http://keyaki-c.com/>

開館時間 9:30~21:30 水曜休館

★AED、防災無線を設置しています★